

令和5年度

# 自己評価報告書

令和6年2月16日

鹿児島医療工学専門学校

## 1. 教育理念、目的

教育理念	鹿児島医療工学専門学校では将来医療従事者となる人材を育成するので「愛される人」「信頼される人」「尊敬される人」すなわち「愛・信・敬」に基づく教育を実践している。 (1)常に本校の学生として正しい礼儀・言動を努める (2)来訪者、教職員に常に挨拶をするように心がける (3)授業の始まりと終わりは起立して先生に挨拶する (4)学内外で学生としての品位を保ちつつ、社会に役立つ技術を習得し、信頼される社会人としての人格を備えた人材を育成する
目的	鹿児島医療工学専門学校は学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、医療分野で広く社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

## 2. 学校の現況

今年度はコロナの制限もなくなり、学生同士も制限なく関わりあっている様子がみられるようになった。学校としても、スポーツ大会や研修旅行などの活動を提供し、学生が充実したキャンパスライフを送れるよう力をいれた。また、広報活動においても、制限のない状況下でオープンキャンパスなどを開催することができ、コロナ禍前の日常に戻りつつある。
--

## 3. 令和5年度の目標と計画

目標	(重点目標) ①目標資格合格 ②就職内定率の向上 ③退学者、留年者の減少、挨拶の徹底 ④定員充足、新学科周知 ⑤学校行事の開催、ボランティアへの取り組み
計画	(目標達成のための具体的事業計画、行動計画) ①・国家試験合格率100%(卒業延期者を極力減らす) ・第2種ME技術実力検定合格率 3年生100%、2年生50%以上 ・学生への授業評価アンケートを基にした理解しやすい授業への改善 ・学科会及び職員会議での学生指導の共有・検討 ・各学年の担任を中心とした個別面談の実施による意識付け ・第2種ME技術実力検定試験対策講座の実施 ・国家試験対策講座の実施 ②就職内定率100% ・担任を中心とした教職員一同での就職相談、面接指導、書類指導の実施 ・求人票は事務が一括管理して一覧を掲示し、詳細ファイルは学生が自由に閲覧可能にする ・より多くの求人票を獲得するため病院や企業等との連携の強化 ・病院や企業説明会等の掲示 ③・退学者数5%未満 ・留年者数5%未満 ・挨拶の徹底 ・講義前クラスごとに朝礼を実施し、出席状況の把握 ・出席状況の悪い学生へ面談の実施及び保証人への連絡 ・クラス日誌や日々の学生とのコミュニケーション等で悩みを把握し、教職員全体で共有し、対策・指導を行う。 ・登校時、教員による挨拶運動の実施 ・来訪者・教職員への挨拶の徹底 ④・定員確保(臨床工学学科40名) ・新学科周知活動 ・学校・職業の認識度向上 ・高校訪問による学校連携と信頼関係構築 ・来校型事業の実施、改善(オープンキャンパス、体験入学、見学会) ・訪問型事業の実施、改善(学校説明会、職業説明会、体験授業) ・インターネット媒体の拡充(ホームページ、動画、SNS等) ・広報業者の活用 ⑤・新入生歓迎会の実施 ・スポーツ大会の実施 ・学生研修旅行の新設 ・ボランティア活動の推奨 ・学生実行委員会を設け、学生が主体となって行事の運営を行う ・がん患者チャリティイベントボランティアへの案内及び参加 ・赤い羽根共同募金街頭活動への案内及び参加

## 目次

- ①教育理念・目的・人材育成像
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学習支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生募集と受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献
- ⑪総括

### \*本評価書における評定について

評価については、以下のような設定で自己評価をする

- |         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 5：最良    | 非常に適切な対応をしている                     |
| 4：適切    | 適切な対応をしている                        |
| 3：ほぼ適切  | 適切に対応しているが課題もあり、改善の取り組みが期待される     |
| 2：やや不適切 | やや対応が不十分であり、課題の抽出と改善に取り組んでいく必要がある |
| 1：不適切   | 対応が全くできていない                       |
| NA：     | 該当なしまたは未実施                        |

①教育理念・目的・人材育成像

評価	
	総合評価 <b>3</b>
評価結果 (総括)	<p>教育理念は定めており、入学時に説明をし、理解は出来ているが、時間が経つにつれ、意識が薄れているように思える。</p> <p>また、教育従事者として教職員全体でより意識をし、教職員から学生に対し指導することが重要だが、あまり実行できていない。職業としての病院等へのニーズには応えられているものの、人材としてのニーズは今一つである。医療人として、また社会人としての在り方を身に付かせ、就職先から必要とされる人材を育てることが今後重要となると考える。</p>
取組状況 と その分析	<p>ホームページでの公開と入学時オリエンテーションでの説明を行っているが、教育理念の意義を念頭に置いて学生生活を送っている学生は少ない。</p>
今後の 改善 方策等	<p>学生へより浸透させるために、教職員全体での周知を徹底することからはじめる。</p> <p>さらに、在校生のみならず、高校生や外部へ向けて教育理念の発信を引き続き行う。</p>

1-1	教育理念・目的・育成人材像(以下「教育理念等」)は、定められていますか	
1-1-a	● 教育理念等はそれぞれ定められていますか	<b>4</b>
1-1-b	● 教職員に対して、教育理念等を明示し、周知徹底を図っていますか	<b>2</b>
1-1-c	● 学生・保護者に対して教育理念等を明示し、周知していますか	<b>3</b>
1-1-d	● 教育理念等を学校外に広く公表していますか	<b>3</b>
実施状況	<p>開校当初から教育理念は定めている。</p> <p>ホームページや入学時オリエンテーションなどで公開・説明を行っているが、周知状況からして改善が必要。</p>	
確認資料	ホームページ	
1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	
1-2-a	● 中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構造を描いていますか	<b>4</b>
1-2-b	● 地域社会や企業・関連業界等に対し意見を求めるなど、ニーズを掴んでいますか	<b>4</b>
実施状況	<p>病院と連携を図りながら、現場のニーズに合った教育を行うようにしている。</p>	

②学校運営

評価	
	総合評価 <b>4</b>
評価結果 (総括)	<p>教育理念に基づいた学校運営方針を定めている。</p> <p>学生アンケートを年2回行い、学生の意見も取り入れた学校運営を行っている。</p> <p>新学科のたまかな運営方針を定めた。</p>
取組状況 と その分析	<p>運営方針に基づき、事業計画を法人全体を通して各学校で作成している。</p> <p>法人本部や姉妹校とオンライン会議を行いながら、運営方針の確認・修正を都度行っている。</p>
今後の 改善 方策等	<p>学生アンケートの内容や、保護者からの意見を取り入れ、各種組織・規則の見直しを柔軟に行う。</p> <p>また、臨床検査学科開設に伴い教職員も増えるため、学校運営方針の周知を徹底し、両学科で統一した教育を行っていく。</p> <p>新学科開設に向け、より詳細な学校運営方針を定める必要がある。</p>

<b>2-1</b>	<b>運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか</b>	
2-1-a	● 運営方針は定められていますか	<b>5</b>
2-1-b	● 運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	<b>3</b>
2-1-c	● 運営方針を教職員に周知していますか、また必要に応じてその浸透度を確認していますか	<b>3</b>
実施状況	<p>教育理念に基づいた運営方針を定めている。</p> <p>運営方針については、新しく入職した教職員に対しても周知を図り、教職員全体に浸透するようにする。</p>	
確認資料		
<b>2-2</b>	<b>事業計画を作成し、執行していますか</b>	
2-2-a	● 事業計画を作成していますか	<b>5</b>
2-2-b	● 事業計画の執行状況を確認していますか、または確認する体制がありますか	<b>4</b>
実施状況	<p>国家試験合格率100%、定員充足に向けて教職員全体で連携して、年間事業計画を作成している。</p> <p>また、定例会議等を行い、執行状況の確認を定期的に行っている。</p>	
確認資料		
<b>2-3</b>	<b>組織運営は適切に行われていますか</b>	
2-3-a	● 寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規定等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されていますか	<b>5</b>
2-3-b	● 意思決定に至る手順・ルートは規定等で明確になっていますか、またそれが有効に機能していますか	<b>4</b>
実施状況	<p>就業規則に運営、その他の規則等が詳細に明記されており、規則に則り運営規定の整備、運営会議の開催、意思決定等を行っている。</p>	
確認資料	就業規則	
<b>2-4</b>	<b>業務の効率化を図っていますか</b>	
2-4-a	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか	<b>4</b>
実施状況	<p>学生または資料請求者等のデータ等をパソコン上で管理し、請求書やDM等または各種書類等の発行業務を迅速に行えるよう効率化を図っている。また、ホームページ等で情報発信にも努めている。</p>	
確認資料		

③教育活動

評価	
	総合評価 <b>3</b>
評価結果 (総括)	国家試験や検定試験に向けて、毎週学科会内で意見交換を行い、より多くの学生が合格できるよう指導に努めた。また、例年通り自身のキャリアについて考える機会を与えることができた。しかし、地域に特化した教育や公共マナーへの指導など、まだ人材育成への課題が残されている。
取組状況 と その分析	カリキュラム通りに講義を実施し、基準通りに成績評価を行った。また、授業評価アンケートを実施したり、教員研修会に参加したりする等、教員が自己研磨できるように努めた。キャリア教育としては、今年度の1年生から新カリキュラムが導入され、鹿児島県臨床工学技士会から講師を派遣頂いたり、2年生では学生研修旅行にて病院見学を実施したりするなど、自身のキャリアについて考える機会を確保することができた。例年の課題であるマナー指導の一環として、登校時に挨拶指導を行っているが、自ら挨拶を行うことの出来る学生の数は多くはないので、改善が必要である。
今後の 改善 方策等	国家試験合格を見据えた教育に重きを置いているため、現状としてマナー指導に手が行き届いていない状況であるが、次年度から教職員一丸となって、日頃から指導できるよう努めたい。

◎目標の設定等	
3-1	教育理念、人材育成像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか
3-1-a	● 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた修業年限を設定し、その修業年限に対応した教育到達レベルを明確にしていますか
実施状況	関係法令に基づいた修業年限を設定しており、教員間で大まかな教育到達レベルを設定している。しかし、明確化できていないので、策定が必要である。

◎教育課程・教育方法・評価等	
3-2	教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか
3-2-a	● 教育課程(カリキュラム)は、明文化されていますか
3-2-b	● 教育課程(カリキュラム)は、事前に学生に開示されていますか
3-2-c	● 情報システム化に取り組むなどの業務の効率化に努めていますか
実施状況	カリキュラムが掲載された学生便覧を全学生へ配布し、また、本校ホームページにも掲載し、いつでも閲覧可能な状態にしている。新入生オリエンテーション時にも学生便覧を用いて説明を行い、理解を深めている。しかし、業務の効率化という点では万全では無いので、今後の検討事項である。
確認資料	学生便覧、本校ホームページ
3-3	キャリア教育・職業教育(以下「キャリア教育等」)を実施していますか
3-3-a	● キャリア教育等の実施に向け、中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(答申)(平成23年1月31日)の内容を参照していますか
3-3-b	● キャリア教育等の実施にあたり、教育内容・方法を工夫していますか
実施状況	今年度の1年生から新カリキュラムが導入され、新しく始まった「チーム医療概論」の講義では、鹿児島県臨床工学技士会より講師を派遣頂き、鹿児島県内の様々な病院でのチーム医療について理解を深めた。また、昨年度、一般財団法人臨床工学国際推進財団事務局より高倉照彦氏を派遣頂いたご縁から、今年度は学生研修旅行にて県外の総合病院を見学させて頂き、自身のキャリアについて考えるきっかけを作った。

3-4	授業改善のための取り組みが行われていますか	
3-4-a	● 学生に対しアンケートを実施するなど授業評価を行っていますか、 また卒業時に在学中の満足度について調査していますか	3
3-4-b	● 評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てていますか	4
実施状況	学生に対して、授業評価アンケートを前期後期に1回ずつ実施した。その結果を集計して、各教員へフィードバックを行い、授業改善へ役立てている。しかし、卒業時に在学中の満足度を調査できていない。	
◎成績評価・単位認定等		
3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定(以下「成績評価等」)の基準は明確になっていますか	
3-5-a	● 成績評価等の基準は、学則、細則等に定められていますか	5
3-5-b	● 成績評価等の基準を学生・保護者に明示していますか	5
実施状況	成績評価等の基準は学則及びシラバスに記載している。学則は学生便覧として配布し、また、本校ホームページ上にも公開している。シラバスも本校ホームページ上に公開している。また、成績評価等の基準を学生に対して教員が説明を行い、保証人に対しては学生自身で説明するよう指導している。	
確認資料	学生便覧、シラバス、本校ホームページ	
3-6	成績評価等を適正に行っていますか	
3-6-a	● 判定会議を開くなど客観性、統一性が取れる体制を作っていますか	5
実施状況	判定会議を教員で開催し、判定基準に従って成績評価等は適正に行われた。	
確認資料	学生便覧、シラバス、成績報告書	

◎資格免許の指導體制		
3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	
3-7-a	● 資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	5
3-7-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	5
実施状況	臨床工学技士国家試験受験資格取得のためのカリキュラムを組んでいる。また、第2種ME技術実力検定合格も目指せるようなカリキュラムになっている。カリキュラムは学生便覧上に掲載して配布し、本校ホームページ上でも閲覧できるようにしている。シラバスは本校ホームページ上に公開している。	
確認資料	学生便覧、シラバス	
3-8	資格・免許取得のための指導體制がありますか	
3-8-a	● 資格・免許取得のための指導體制がありますか	4
実施状況	国家試験や第2種ME技術実力検定全員合格に向けて、適宜試験対策講座を行った。具体的には、姉妹校と連携して独自の模擬試験を実施し、採点結果を即日、学生へ配布して、個々の苦手分野を把握できるようにした。また、今年度は過去問を掲載したスマートフォンアプリを導入し、学生がいつでも過去問を解くことが出来るようにした。	

◎教員・教員組織		
3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	
3-9-a	● 教員数は関係法令等を満たしていますか	3
3-9-b	● 現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っていますか または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っていますか	3
実施状況	指定規則に準じた教員を採用し、並行して教員の採用活動を行っている段階である。	
確認資料		
3-10	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	
3-10-a	● 鹿児島県専各連合会主催研修会等への参加を奨励・支援していますか	2
3-10-b	● 校内研修(OJT)を行っていますか	NA
3-10-c	● 企業や各種の団体等が主催する研修会等への参加を奨励・支援していますか	5
実施状況	今年度は、日本臨床工学技士教育施設協議会主催の教員研修会や、鹿児島県臨床工学技士会主催の学会等へ参加をした。 また、臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修(告示研修2021)の受講を推奨し、教員の能力向上に努めている。	
確認資料		
◎地域に根ざした教育		
3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	
3-11-a	● 鹿児島県内の人材を活用して、授業を行っていますか	5
3-11-b	● カリキュラムや授業計画(シラバス)は文書化またはデータ化し、学生に配布していますか	5
3-11-c	● 鹿児島県内の企業、医療機関等において、校外実習・インターンシップ等を実施していますか	4
3-11-d	● 県内のほかの専修学校・各種学校と協力・連携した教育を行っていますか	1
実施状況	教職員の過半数が県内出身者である。また、各医療機関と連携し、3年次に臨床実習を実施している。インターンシップの情報や鹿児島県臨床工学技士会主催のセミナー等は掲示板等で伝達し、情報発信を行っている。県内にある他の専修学校・各種学校と連携した教育は行えていない。	
確認資料		
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	
3-12-a	● 学生が鹿児島県や各市・町の自然、文化等に触れることのできる授業等を行っていますか	1
3-12-b	● 交通安全教育を行っていますか	2
3-12-c	● 公共のマナーについて、教育・指導していますか	2
実施状況	県内の自然や文化に触れる教育は、未だ実施できていない。交通安全教育や公共のマナーに関しては、その都度、口頭で指導を行っている。また、登校時、玄関前で挨拶指導を実施したり、臨床実習前にマニュアル等を用いてマナー指導を行ったりしているが、全員に定着させることができなかった。	
確認資料		



④学修成果

評価	
	総合評価 <b>4</b>
評価結果 (総括)	第2種ME技術実力検定試験合格率は、3年生の合格率は3割、2年生の合格率は6割となった。3年生の国家試験については現段階での合格率は不明だが、全員合格に向けて対策を講じている。就職内定率は現段階で6割であるが、未定の者は国家試験勉強に集中しているため、試験後に指導していく予定である。
取組状況 と その分析	第2種ME技術実力検定試験の結果を見ると、2年生は概ね試験対策の効果が見られた。3年生に関しては登校するという基本的な習慣が身に付いておらず、検定試験前まで毎日登校してきた学生に対しては試験対策を講じられたので、全員合格という結果を得られている。国家試験に対しては、少しずつ登校状況の改善が見られ、徐々に成績が向上している段階である。就職に関しては、国家試験勉強に専念している学生も多く、内定率100%に至っていないが、今後指導していく。
今後の 改善 方策等	次年度へ向け、2年生の第2種ME技術実力検定試験に合格していない学生が全員合格できるよう、教員間で話し合い、対策を講じる必要がある。また、就職が決まっていない学生に関しては、国家試験後に内定を獲得できるよう指導に努める。

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	
4-1-a	● 国家試験合格率の目標設定をしていますか	<b>4</b>
4-1-b	● 取得率向上のための対策等を講じていますか	<b>4</b>
実施状況	第2種ME技術実力検定試験へ向け、2年生は半数以上、3年生は全員合格という目標を設定した。夏休み中に過去問試験や姉妹校と連携して作成したオリジナルの模擬試験を実施したり、検定試験対策講座を実施したり、スマホアプリを導入したりと対策を講じた。その結果、2年生は目標を達成し、3年生は達成できなかった。国家試験へ向けには、毎週模擬試験を実施し、その結果を即日配布して学生が個々の実力を把握できるようにし、スマホアプリも導入した。また、放課後や休日も学校を開放して自習環境を提供したり、成績の芳しくない学生へ対してはチューター制度を導入したりと学生の成績向上へ努めた。	
確認資料		
4-2	就職率の向上が図られていますか	
4-2-a	● 学生に就職に対する目標を立てさせていますか	<b>3</b>
4-2-b	● 学生の就職活動状況を把握し、指導・助言していますか	<b>3</b>
実施状況	2年生に対しては就職希望のアンケートを実施し、就職への目標を立てさせ、臨床工学技士として現場で働く非常勤講師からアドバイスを頂いた。3年生に対しては臨床実習を経験した上で、自身のキャリアを考えさせ、適宜就職指導を行った。また、履歴書の添削や面接指導も行った。そして、学年問わず全学生が求人をいつでも閲覧できるように掲示を行った。	
確認資料		

⑤学習支援

評価	
	総合評価 <b>3</b>
評価結果 (総括)	近年の退学者は少数となったが、在学中の就職支援や、卒業生への支援体制等をより充実させることが可能ではないかと考える。経済的支援や生活環境支援に関しては、事務職員が中心となって説明会を実施し、必要な者が支援を受けられるようにした。
取組状況 と その分析	中途退学対策として学生全員に対して半期に一度面談を行い、学生の状況を把握するよう努めている。また、問題のある学生に対しては学年を問わず、その都度面談を行い、担任が作成するクラス状況報告書により職員間で情報を共有している。その中でも、成績の芳しくない学生に対しては、新学期が始まるまでに三者面談を実施し、保証人も交えて学生の状況を把握するようにした。経済的支援としては、奨学金説明会の実施や教育ローンの案内を行い、生活環境支援の一環として、民間不動産会社と連携して住居の紹介を行っている。
今後の 改善 方策等	次年度から臨床検査学科が新設され職員数も増加することから、各専門委員会を編成し、学生生活が有意義なものとなるよう協議を行いたい。

◎中途退学	
5-1	退学率の低減が図られていますか
5-1-a	● 中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握していますか <b>4</b>
5-1-b	● 中途退学防止のための対策を講じていますか <b>4</b>
実施状況	本校では退学者の低減を図るため、全学生に対して、半期に1回、担任が面談を行っている。また、学校生活アンケートを実施したり、外部の相談機関の紹介も行ったりしている。欠席数の多い学生や成績不良の学生に対しては学年を問わず、その都度面談を行い、担任が作成するクラス状況報告書により職員間で情報を共有している。
確認資料	退学願

◎就職等進路	
5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか
5-2-a	● 就職等に関する支援部署・相談部署(就職担当部門)はありますか <b>3</b>
5-2-b	● 就職担当部門と担任教員との連携は図られていますか <b>3</b>
5-2-c	● より高度な学習・研究ができるよう大学等との併習または接続が可能な体制等を取っていますか <b>3</b>
実施状況	明確に就職担当部門の設置は行っていないが、3年生の担任を中心に相談を受ける体制を取っている。大学等との接続は可能である。
確認資料	
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか
5-3-a	● 企業等からの求人票をまとめ、求人情報を学生に公開していますか <b>5</b>
5-3-b	● 就職説明会・就職相談会等を開催していますか、または人材関連企業等が主催する説明会等への参加を奨励していますか <b>2</b>
5-3-c	● 履歴書の書き方、面接の受け方などの講座を設けていますか、または指導していますか <b>4</b>
実施状況	求人票を掲示し、詳細は教室でいつでも閲覧可能な状態である。校内での就職説明会を実施していないが、相談は適宜受け付けている。また、人材関連企業等主催の就職説明会への紹介も行った。履歴書の書き方等の指導は教員が分担して行った。

◎学生相談		
5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	
5-4-a	● 入学時または定期的に、担任等が学生に対し個別相談・ヒアリングを行っていますか	4
5-4-b	● 学生から相談があったとき、迅速に、かつ、的確に対応する体制がありますか	3
実施状況	先述の通り、学生全員に対し半期に1回面談を行い、何か問題がある場合、その都度面談を行っている。学生から相談があった場合は適宜相談を受け、半期に1回実施する学生生活アンケート内でも悩みを記入する欄を設けている。また、外部の相談機関の紹介も行っている。	
5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	
5-5-a	● いじめや孤立を早期に発見する体制がありますか	3
5-5-b	● いじめ等を発見した場合、それを解決するための体制・仕組みがありますか	2
実施状況	教員が講義中や休み時間等で学生を観察したり、コミュニケーションを取ったりする中で、いじめや孤立等の異変を感じた場合は教員間で情報共有するように努めたが、解決するための体制は十分とは言い難い。	
確認資料		

◎学生生活		
5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	
5-6-a	● 公的支援制度の利用について、学生・保護者に案内、情報提供していますか	4
5-6-b	● 学費の減免、特待生制度、学校独自の奨学金制度等がありますか	4
実施状況	日本学生支援機構による奨学金、日本政策金融公庫による国の教育ローン、またその他金融機関の教育ローン等についても入学前、入学後それぞれ紹介を行っている。また学費の減免制度としては、入学選抜選考における専願系の入試合格者に対して授業料減額を設けている。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	
5-7-a	● 学生に対し、定期健康診断を実施していますか	4
5-7-b	● 有所見者の再検診について適切に対応していますか	4
実施状況	年に1度学生に対し定期健康診断を実施している。有所見者についても適切な指導のもと、再検診を行うよう促している。	
確認資料	健康診断費用請求書等	
5-8	生活環境支援体制を整備していますか	
5-8-a	● 遠隔地からの学生のための寮を整備していますか、またはアパート・マンションの紹介等をしていますか	4
実施状況	寮は整備していない。民間不動産会社と提携を行いアパート・マンションの紹介、また学生の負担を少しでも減らすべく、仲介手数料半額等の措置を講じている。	
確認資料	物件紹介依頼（川商ハウス）	

◎保護者		
5-9	保護者・保証人(以下「保護者等」)との連携を図っていますか	
5-9-a	● 保護者会の開催等、保護者等とのコミュニケーションを図るとともに、学校の教育活動情報を伝えていますか	3
5-9-b	● 成績・素行不良の場合には、保護者等に連絡を取り、あるいは面談していますか	5
5-9-c	● 緊急時の保護者等との連絡体制を確保していますか	5
実施状況	成績の芳しくない学生に対しては、新学期が始まる前に三者面談を実施し、保証人も交えて学生の現状を各々が把握できるようにしている。また、学籍カードに保証人の連絡先を記入してもらっているため、緊急時は保証人と連絡が取れる体制になっている。	

◎卒業生・社会人		
5-10	卒業生の動向を把握していますか	
5-10-a	● 年度毎に調査・集計し、動向等を把握していますか	3
5-10-b	● 卒業年度だけではなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握していますか	2
実施状況	卒業時に卒業後の連絡先等を調査・集計している。また、卒業生の進路が臨床実習先の病院であることが多いため、実習先へ訪問する際、就業状況等の報告を受けている。しかし、その他の学生に対しては把握できていないことが多い。	
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	
5-11-a	● 資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか	3
5-11-b	● 再就職、キャリアアップについて、卒業後の相談に乗っていますか	3
実施状況	国家試験に不合格した者は、聴講生として在校生と同様に講義を受けたり、教員へ質問したりすることができる体制がある。転職を含めた卒業後の相談も本人の希望があれば、受けるようにしている。	
確認資料		
5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	
5-12-a	● 大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか	1
実施状況	入学前の履修に関する取扱いは明確に提示していないが、聞かれた場合は職員が説明するようにしている。	
確認資料		

⑥教育環境

評価	
	総合評価 <b>5</b>
評価結果 (総括)	新学科開設に向けて校舎の改装工事と機器・備品の導入を行った。 図書の追加。学習時間の確保。 職員室の変更、学生指導の空間を設置。
取組状況 と その分析	7階のすみれホールを臨床検査実習室に改装し、臨床検査学科開設に向けての準備を行った。 また、教室移動を行い、臨床工学学科と臨床検査学科のフロアを分けれるようにした。 さらに、国家試験前は平日20時まで、土日17時までの学校開放も行い、自習環境を整えた。
今後の 改善 方策等	新学科を開設し、教職員・学生の意見を取り入れながら、必要な備品や設備を考慮しつつ、設備を充実させていく必要がある。

6-1	<b>教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか</b>	
6-1-a	● 施設・設備、教具等の種類・数量は関係法令に適合し、かつ、教育上十分に設置・配置されていますか	<b>5</b>
6-1-b	● 施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っていますか	<b>5</b>
実施状況	医療機器やPCなどは学生にいきわたる数が十分配置されている。	
確認資料	領収書	
6-2	<b>校外の実習、海外研修等(以下「校外実習等」)について、十分な教育体制を整備していますか</b>	
6-2-a	● 校外実習等は、教育課程の中に組み込まれていますか	<b>5</b>
6-2-b	● 校外実習等に関する実施要領・マニュアル等を作成し、学生・保護者等に周知していますか	<b>4</b>
6-2-c	● 校外実習等についての成績評価基準を明確に決めていますか	<b>4</b>
実施状況	臨床実習は教育課程の中に組み込まれており、今年度も新型コロナウイルスの感染状況によって、臨床実習の期間をずらすこともあったが、無事臨床実習を終えることが出来た。実施要領・マニュアル等は学生へ配布し、実習前指導も行っている。	
確認資料	学生便覧	
6-3	<b>防災・安全管理に関する体制を整備していますか</b>	
6-3-a	● 防災計画や消防計画を所轄の消防署に届出ていますか、また必要に応じそれらの計画を変更していますか	<b>5</b>
6-3-b	● 施設・設備の耐震化を図っていますか	<b>5</b>
実施状況	消防計画の届出はなされており、火災時には適切な避難ができるよう各職員担当を振り分けている。	
確認資料	消防計画、危機管理マニュアル	
6-4	<b>防災訓練等を実施していますか</b>	
6-4-a	● 学校独自で教職員・学生に対し防災研修・教育を行っていますか	<b>5</b>
実施状況	例年、年に1度火災を想定した防災避難訓練を行っている。	
確認資料	防災計画	

⑦学生募集と受入れ

評価	
	総合評価 <b>4</b>
評価結果 (総括)	今年度は、臨床工学学科に加えて臨床検査学科の募集も始まった。広報媒体の掲載やオープンキャンパス・ガイダンス・高校訪問などでの新学科開設の周知を行ったが、まだまだ周知がされていないのが現状である。 充足率としては、現状臨床工学学科は90%、臨床検査学科は45%どまりとなった。(2/7日現在) 広報活動を再度見直し、充足率をあげれるようアプローチしていく。
取組状況 と その分析	パンフレットの新規作成、臨床検査学科周知のためのチラシ作成、SNSの活用、店舗へのチラシ掲示、出張オープンキャンパス、体験入学の内容変更、広報媒体への掲載など
今後の 改善 方策等	2学科になるため、広報媒体を活用し、ガイダンスなどでの対応数を増やしていく。 また、SNS広告やテレビCMなども活用し、まずは広く周知をしていく。 さらに、熊本県・宮崎県・沖縄県のガイダンス等にも参加し、隣県からの入学者数も増えるようアプローチを行う。 校名変更によるイメージアップを図る

7-1	<b>学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか</b>	
7-1-a	● 高等学校等直結する教育機関に対し、教育活動等の情報提供を行っていますか	<b>4</b>
7-1-b	● 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介していますか	<b>5</b>
7-1-c	● 体験入学・オープンキャンパス等を実施し、多くの人に教育内容・施設設備等の紹介をしていますか	<b>4</b>
7-1-d	● 入学に対する問い合わせ等に適切に対応できる体制を取っていますか、または人員を配置していますか	<b>5</b>
実施状況	高校への訪問に加え、地方の学生も気軽に説明が聞けるように地方での説明会を開催している。 また、県内の店舗へのチラシ掲載を行い、広い地域で目につくようにしている。	
確認資料	学校案内、学校ホームページ、募集要項、高校訪問報告書	
7-2	<b>授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか</b>	
7-2-a	● 入学金・授業料・施設設備費・実習費のほか、教材費等その他の費用の金額についても明示していますか	<b>4</b>
7-2-b	● 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応していますか	<b>5</b>
実施状況	入学金、授業料、教材費など大きなものについては金額の明示を行っている。その他の費用については、個別に 明細等が必要と相談を受けた場合に個別で明細を提示している。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項、領収書	
7-3	<b>社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか</b>	
7-3-a	● 社会人の「学び直し」に対応し、社会人を積極的に受入れていますか	<b>5</b>
7-3-b	● 給付型奨学金や授業料等減免など、学校独自に学生への経済的支援を行っていますか	<b>5</b>
実施状況	現役、社会人など関係なく同条件で募集を行っている。社会人のオープンキャンパス参加数は増えており、入学数も増加 傾向にある。入学後のサポートもしっかりと行っていきたい。	
確認資料	学校ホームページ、募集要項	

⑧財務

評価	
	総合評価 <b>4</b>
評価結果 (総括)	本法人の財政基盤は現時点、安定している。
	学校法人会計により適正な会計処理が行われている。
	今年度は臨床検査学科開設に伴い、工事や機器・備品購入により、支出の割合が増えている。
取組状況 と その分析	法人、理事会、評議員会と複数によるチェック体制の下、予算編成を行い、会計監査は税理士によるチェック 監事による監査を行い、決算書は適正である。
今後の 改善 方策等	少子化に伴い、専修学校への進学者数の減少が進む今後も、ハード面、ソフト面ともに教育の質を落とす事 なく、経費削減・節約に努めていく。

<b>8-1</b>	<b>学校及び設置者(法人)の収支、財政基盤は安定していますか</b>	
8-1-a	● 出願者数、入学者数及び定員充足率の推移を把握していますか	<b>5</b>
8-1-b	● 収支と支出のバランスが取れていますか	<b>5</b>
8-1-c	● 設備投資が過大になっていたり、負債が返還可能な範囲を超えていたりしませんか	<b>4</b>
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。	
確認資料	財務書類、決算書	
<b>8-2</b>	<b>予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか</b>	
8-2-a	● 予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっていますか	<b>4</b>
8-2-b	● 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っていますか	<b>4</b>
実施状況	毎月行われる財務会議において、状況報告・相談・連絡・検討が行われている。 また、財務部から各部署への報告等を密に行っている。	
確認資料	予算書、財務書類	
<b>8-3</b>	<b>会計監査、財務情報公開が行われていますか</b>	
8-3-a	● 会計監査体制のルールが明確化されていますか	<b>5</b>
8-3-b	● 会計監査の結果報告が文書化されていますか	<b>5</b>
8-3-c	● 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいますか	<b>3</b>
実施状況	公開希望者には事務室にて公開は行っているが、インターネット等による公表は積極的に取り組んでいるとは言えない。	
確認資料	決算書、寄附行為	

⑨法令等の遵守

評価	
	総合評価 <b>5</b>
評価結果 (総括)	専修学校設置基準及び養成施設指定規則の関係法令に基づき、就業規則、学則、ハラスメントの防止に関する規定等を整備し、適切な運営がなされている。教職員が法令順守する姿勢を見せることで学生にも波及している。
	学校運営を変更するなど細かなことでも弁護士に依頼し適正であるか都度確認を行っている。
	鹿児島県総務部学事法制課による学校運営調査では改善点は特になしとの評価を受けている。
取組状況 と その分析	就業規則、学則、ハラスメントの防止等に関する規則等について教職員へ周知徹底すると共に、学生に対してはオリエンテーション等を通じて規則の遵守を指導している。
今後の 改善 方策等	個人情報の取り扱いに関しては教職員間で連携し、日々の注意喚起や情報の共有を行っている。
	教職員の情報公開が十分でないので今後情報公開を行っている。

<b>9-1</b>	<b>専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか</b>	
9-1-a	● 監督官庁に対し、申請・届出等を遅滞なく行っていますか	<b>5</b>
9-1-b	● 学校運営に必要な諸規定を整備し、それを適正に運用していますか	<b>5</b>
9-1-c	● セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行していますか	<b>4</b>
実施状況	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令を遵守し、適正な運営をしている。	
確認資料	就業規則、学則	
<b>9-2</b>	<b>個人情報に関する規定を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか</b>	
9-2-a	● 個人情報の取扱いについて、規定・方針を策定していますか	<b>4</b>
9-2-b	● 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができていますか	<b>4</b>
9-2-c	● リムーバブルメディア、ウェブサイト等からの情報漏洩防止策を講じていますか	<b>4</b>
実施状況	個人情報の取り扱いについてはその重要性を教職員が十分に認識し、情報漏洩が発生しないよう情報保護を行っている。ウイルス等対策のソフトもインストールし対策を強化している。	
確認資料	就業規則、領収明細書	



9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	
9-3-a	● 自己評価を適正に実施・運用するためのルールが明文化されていますか	4
9-3-b	● 実施のための組織体制を整備し、定期的に取り組んでいますか	3
9-3-c	● 自己評価結果を報告書にまとめていますか	5
9-3-d	● 自己評価結果をホームページ等に掲載するなど公表していますか	5
実施状況	例年2月に自己評価を行い、結果は平成29年度より毎年ホームページにて公開している。	
確認資料	学校ホームページ	
9-4	専修学校設置基準・各種学校規定及び関係法令の遵守と、適切な運営がなされていますか	
9-4-a	● 学校概要、教育内容、教職員の情報等を積極的に公開していますか	4
実施状況	学校内容、教育内容については学校案内・ホームページに公開している。教職員の情報については公表は十分でない。	
確認資料	学校案内、募集要項、学校ホームページ	

⑩社会貢献・地域貢献

評価	
	総合評価 <b>3</b>
評価結果 (総括)	教員から地域や関係団体などのイベントには進んで参加するように指導している。個人的にイベント等に参加している学生もいるが、学校の取り組みとして社会貢献活動ができるようにしていく必要がある。
取組状況 と その分析	掲示やSNS、口頭などで学生への周知は徹底的に行っている。 教員が学生に声をかけ、一緒に献血活動を行ったり、選挙についての講義を聞き、投票宣誓を行ったりした。
今後の 改善 方策等	周囲からの情報に目を向けて多くの情報を取り入れる必要がある。 また、学校全体で参加できるような取り組みを探していく。

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	
10-1-a	● 地域や関連業界が開催する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)等を積極的に受託していますか	<b>2</b>
10-1-b	● 地域、関連業界、同窓会等が研修会・研究会を開催する際、学校施設・設備等を開放していますか	<b>NA</b>
実施状況	臨床工学技士会の特別講師の講義や、病院との連携、内部講師の講座など積極的に取り入れている。	
確認資料	決裁伺書、報告書、領収書	
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	
10-2-a	● 学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	<b>4</b>
10-2-b	● 教職員は率先して近隣道路の清掃を行うなど、学生の模範となる行動をしていますか	<b>2</b>
実施状況	教職員と一緒に献血活動等行っている。	
確認資料	SNS	

10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	
10-3-a	● 学生が地域や地域住民の開催する行事・イベント等へ参加することを奨励していますか	5
10-3-b	● 地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等(分野により研究・開発)を行っていますか	1
実施状況	県や専修学校協会からのボランティア等の案内は掲示等で周知している。 SNSでも行事やイベントをとりあげている。	
確認資料	報告書	
10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	
10-4-a	● 高校生・中学生に対し、キャリア教育・職業教育や進路に関する指導・助言を行い、職業意識の涵養・高揚に努めていますか	5
実施状況	広告代理店を通じた学校説明会や高等学校と連携し、体験型授業等を行っている。 体験入学の開催、地方に出向く出張オープンキャンパス、また広報業者が主催する説明会など積極的にを行い参加している。	
確認資料	領収書 購入申請書 報告書	

⑪総括

評価					
				総合評価	4
評価結果 (総括)	前年度より改善して効果が表れた部分が多くあった。				
	外部からの意見も参考にし、取り入れる必要がある。				
	来年度は、臨床検査学科開設の年になるため、学生指導、広報活動ともに職員全体で連携してよりよい学校づくりを行う必要がある。				
取組状況 と その分析	国家試験	充足率（臨床工学学科）	充足率（臨床検査学科）	退学率	
	今年度	—%	—%	2.7%	
	見込み	85%	90%	45%	
今後の 改善 方策等	昨年と比較したとき国家試験合格率は低下、募集定員充足率は減少、退学率は横ばいとなる見込みである。				
	学生に対する指導を1年次から徹底的に行い、国家試験合格率の増加、退学率の減少を目指し、より質のいい教育を提供していく。また、広報活動においても隣県まで範囲を広げ、南九州全域から周知されているような学校を目指していく。				

11-1	学校評価の実施について評価してください	
11-1-a	● 学校評価の目的(何のために学校評価をするか)が、全ての教職員に浸透していましたか	3
11-1-b	● 学校評価を積極的に実施できましたか(受動的になったり、義務感でやっていませんでしたか)	3
11-1-c	● 評価に向けての体制を構築し、担当責任者・担当者を明確に決めましたか	2
11-1-d	● 学校評価の準備から実施、また公表に至るまで、教職員が協力して行えましたか	3
11-1-e	● 評価結果を踏まえ、改善に向けての仕組み・流れを構築し、それをみんなで共有できましたか	4
実施状況	全体的に評価を軽んじている教職員が多い。自己評価で改善点を見出し、教職員全体で今後の教育活動に活かすという心構えが重要である。	
確認資料		

#### 4.自己評価結果(総括)

評価	3
----	---

目 標 達 成 状 況	<p>①<b>目標資格合格</b>          →国家試験合格率3/27以降に公開、卒業延期者1名(見込)          →第2種ME技術実力検定合格率 3年生29%、2年57%</p> <p>②<b>就職内定率の向上</b>          →就職希望者34名に対し23名内定(2/14時点)</p> <p>③<b>退学者、留年者の減少、挨拶の徹底</b>          →退学者減少:増加(3名 2/14時点)          →留年者(卒業延期者):増加(見込1名)          →教員による挨拶運動などの実施による挨拶の習慣付け</p> <p>④<b>定員充足・新学科周知</b>          →臨床工学学科 36/40名(2/14時点)          →臨床検査学科 18/40名(2/14時点)</p> <p>⑤<b>学校行事の開催・ボランティアへの取り組み</b>          →コロナ禍で開催できていなかったスポーツ大会や          新入生歓迎会の実施を再開          →献血ボランティアへ参加</p>
今 後 の 課 題 ・ 改 善 方 策	<p>今年度の3年生については、放課後・土日の学校開放等を行い、国家試験合格に向け、個々が自習に熱心に取り組んでいる。合格可能性としては、目標達成できるレベルまで成績があがってきている学生も見られるが、いまだそのレベルまであがっていない学生も複数みられる。内定については、各々が希望する就職先からいただいている状況である。</p> <p>1,2年生については、指導体制もまとまっており、遅刻欠席が目立つ学生については、早期な段階で指導を行うことで、改善されている。1年生は、来年度の第2種ME技術実力検定を意識し始めている学生もおり、2年生は3年時に向けて就職先の大まかな希望を決めたりと、意識も高く、学校環境としては良好である。</p> <p>募集において、臨床工学学科については、入学辞退の学生もおり定員割れで留まると見込まれる。臨床検査学科については、まだまだ周知不足であり、40名を達成することは難しいと考えられる。</p> <p>来年度は新学科設立・校名変更の年になるため、広報活動の方法を見直し、SNSを有効活用しながら、学校の知名度上昇につなげたい。</p>